

NEWS RELEASE

報道関係各位



2018年8月3日

株式会社シナプス
かごしま MiL:AI プロジェクト

インターネットサービスプロバイダ/シナプスと、 AI 研究開発コミュニティ/かごしまミライプロジェクトが共同し、 人工知能技術の利活用実証研究と活用事例創出に取り組みます。

株式会社シナプス（本社 鹿児島市、代表取締役社長 竹内勝幸）とかごしま MiL:AI プロジェクト（かごしまミライプロジェクト、所在地 鹿児島市、代表 菊永太志）は共同して、人工知能(AI)技術の利活用実証研究に取り組むことといたしました。両者の持つ技術・ノウハウ・蓄積データをベースとして、鹿児島での実践的な AI 活用事例を創出することで、鹿児島のビジネスシーンにおける AI 活用を促進し、地域経済の活性化に寄与することを目指します。

■背景

AI 技術は 1950 年代に提唱され、以降 2 度に渡る技術的なブームはあったものの、実際のビジネスや日常生活にインパクトを与えるには至りませんでした。しかし 2000 年代に入ってディープラーニング（深層学習）技術が登場したことにより改めて脚光を浴び、世界中でビジネスへの応用が模索されはじめました。さらに昨今は、AI が将棋や囲碁においてプロ棋士を上回る能力を発揮する場面もあり、「人間を超える能力を持つ AI」がより身近なものとなり、社会構造を変える可能性のある技術として、情報産業のみならず、あらゆる産業で AI 応用の取り組みが進められています。

本県においては、大学等で AI の学術研究は進められておりましたが、ビジネスシーンでの実践的な活用事例は少ない状況です。そのようななか昨年、県内のエンジニア有志が集まり、AI に関する研究開発コミュニティ/かごしま MiL:AI プロジェクトが発足し、AI の一分野である機械学習技術に着目した自主的な技術習得活動が行われております。さらに本年 6 月には第 32 回人工知能学会全国大会が鹿児島市で開催され、AI に関する県内エンジニアの意識もより高まりつつあり、AI の実践的な活用の場が求められています。

■ シナプスおよび MiL:AI プロジェクトの取り組みについて

そのような背景を踏まえ、膨大なデータと、AI 活用のためのコンピューターリソースを持つシナプスと、AI 技術のノウハウをもつ MiL:AI プロジェクトが相互補完的に共同して、県内で率先してビジネスシーンにおける AI 活用事例の創出を目指すこととしました。県内実業界でも AI は非常に注目を集めているものの、身近な活用事例が少なく、その展開は必ずしも早いものではありませんでした。今回の両者の取り組みは、県内での身近な AI 活用先行事例を数多く生み出すことで、鹿児島県のビジネスシーンにおける AI 活用を促進し、鹿児島県経済の活性化に寄与しようとするものです。同時に AI は膨大なデータを扱うことから、データの秘密性の保持、個人情報保護などの課題もあります。今回の取り組みでは、AI を実際に活用するうえでの周辺課題の整理と解決も目指します。

■ 期待する具体的な成果（AI 活用事例）

- 顧客対応履歴のテキストデータを解析し、顧客ニーズの傾向を分析する。
- 電話音声データを解析し通話相手の感情を推定することで、顧客満足度の向上を図る。
- “鹿児島弁”の自然言語処理技術の確立。
- ネットワーク通信ログの解析による、セキュリティ攻撃への迅速対応。
- ネットワーク通信ログの解析により異常予兆を検知し、機器監視業務の省力化を図る。

■ 関係者について

○株式会社シナプス

本社：鹿児島市中央町 6-1
代表者：代表取締役社長 竹内 勝幸
設立：2017 年 4 月 1 日
ウェブサイト：<https://www.synapse.jp/>
主要事業：通信事業

○かごしま MiL:AI プロジェクト(かごしまミライプロジェクト)

所在地：鹿児島市武 1 丁目 16-1
代表者：代表 菊永 太志
設立：2017 年 7 月 7 日
ウェブサイト：<https://www.facebook.com/Kagoshima.MiLAI/>
主要事業：機械学習・深層学習に関するセミナーやコミュニティ活動

本件に関するお問い合わせ先

- かごしま MiL:AI プロジェクト
担当：菊永 TEL：090-9562-0424 eMAIL：taishi.kikunaga@gmail.com
- 株式会社シナプス
担当：小園 TEL：099-813-8690 eMAIL：info@synapse.jp